宗谷農業改良普及センターだより 通巻49号（令和8年6月1日）■バックナンバー 宗谷普及センターホームページ http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/katsudou/tayori_top.htm

そうやのひと　令和７年度北海道指導農業士　認定

～豊富町　山本（やまもと） 章寛（あきのり）さん～

令和７年度北海道指導農業士に、豊富町の山本章寛さんが認定されました。

山本さんは、自給粗飼料を中心に給与しながら牛を健康的に飼養することを心がけて営農されています。
家族労働中心ですが、生産性を高めつつ、効率的な経営を展開しており、地域の模範となる農場を実現しています。
山本さんからは、「担い手の減少という課題の解決に向けて、研修生や実習生を受け入れ、指導し、新規就農や酪農関係人口の増加によって農業の発展に取り組んでいきたい」と抱負を語っていただきました。

称号贈呈式後の懇親会場にて、今後の活動を見据えて力強く意気込む山本さん

職員紹介

転入者　お世話になります。よろしくお願いいたします。

宗谷本所

次　長　横山（よこやま） 優（まさる）

（渡島農業改良普及センター 渡島北部支所より）

主任普及指導員　齋藤（さいとう） 太香詞（たかし）

（空知農業改良普及センター 北空知支所より）

主査（地域支援）　富樫（とがし） 麻衣（まい）

（空知農業改良普及センターより）

宗谷北部支所

支所長　大日方（おびなた） 唯子（ゆいこ）

（石狩農業改良普及センターより）

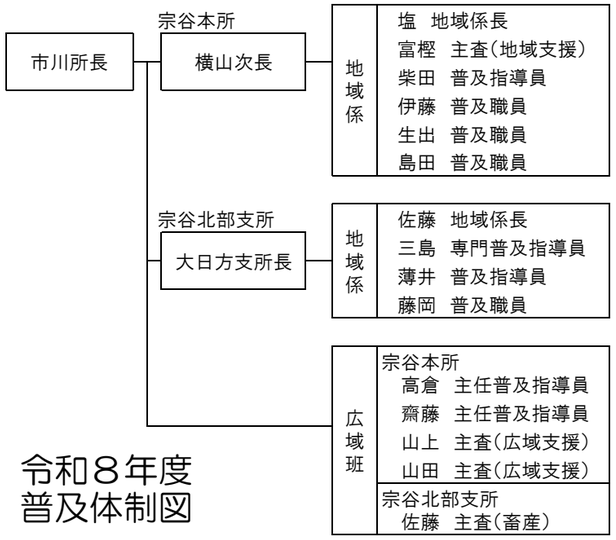
普及職員　藤岡（ふじおか） みいな

（新規採用）

酪農試験場天北支場

上席普及指導員　吉川（きっかわ） 正明（まさあき）

（釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所より）



令和８年度
普及体制図

転出・退職　お世話になりました。

宗谷本所から
吉田　肇　（退職）
近藤　駿　（釧路農業改良普及センターへ）
宗谷北部支所から
富沢　雅代（十勝農業試験場技術普及室へ）
髙木　啓詔（日高農業改良普及センターへ）
酪農試験場天北支場から
宮森　秀樹（後志農業改良普及センターへ）

普及職員（農業）募集中！

お気軽にお問い合わせ下さい。

採用情報

■お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター本所
〒098-5551　枝幸郡中頓別町中頓別983-11
TEL01634-６-1414

宗谷北部支所
〒098-4110　天塩郡豊富町字豊富大通り1丁目
TEL0162-82-2119

宗谷農業改良普及センターだより

B&V SOYA

活動紹介
- ●重点活動（本所）
- ●重点活動（支所）
- ●広域活動（担い手）

技術＆情報
- ●暑熱対策：夜のクールダウンで夏バテ知らず！

そうやのひと
- ●令和７年度北海道指導農業士認定：山本章寛さん

職員紹介　他

No.49
2026/06/01

活動紹介

重点活動

良質な粗飼料を活用した生乳生産

粗飼料生産性の向上と生乳の生産性向上
～中頓別町松音知地域～

R7年度は粗飼料と生乳の生産性向上をめざし、次の活動を行いました（一部抜粋）。

①細切りサイレージ調製法の改善
収穫の早期化に伴うサイレージ添加剤の使い分け

②サイレージ用とうもろこしの排水性改善
カットドレーン試験施工、明きょの床下げ

③生乳の生産性の向上
暑熱対策継続と飼養管理改善

R8年度は同じく松音知地域にてロス低減に向けて活動を展開します。

①収穫序盤はギ酸、中盤から乳酸菌へ移行

③送風機の角度・清掃で送風効率アップ

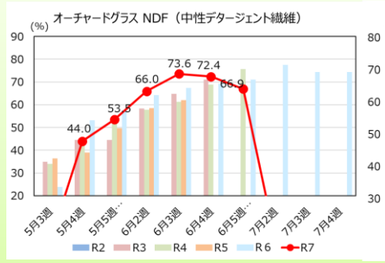
②サイレージ用とうもろこし収量確保は、根張りのための排水性改善がカギ

生草分析の栄養傾向（R2年～）

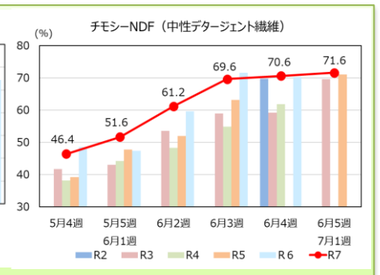
R7年1番草の繊維含量増加時期が、R2年に比べ1週間程度早期化しています（右図NDF）。

乳量反応の良い主力草地が刈り遅れないよう早めの収穫をおすすめします。

HPにて生草分析値を毎週更新しますのでご活用ください(右下参照)。



OG:6月第2週に適期



TY:6月第3週手前に適期

生産基盤の強化による地域農業の発展

飼養管理の充実による生産性の向上
～豊富町目梨別地域～

豊富町目梨別地域では、R3～7年度の５年間で施設改善や乳牛の飼養管理改善、サイレージの発酵品質向上、草地の排水改善など様々な活動を行ってきました。今回は、最終年（R7年度）の活動の中から暑熱対策の取組をご紹介します。

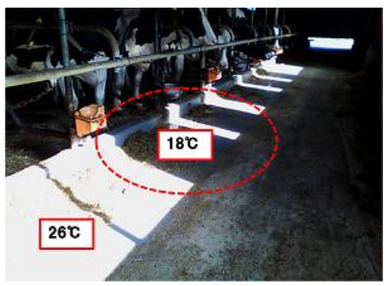
Ａ農場（トンネル換気牛舎）では、 R7年夏に西日による輻射熱低減対策として試験的に牛舎の窓１箇所にベニヤ板を設置しました。普及センターでその設置箇所および無設置箇所の飼槽温度を調査したところ、ベニヤ板無設置箇所は26℃であったのに対し、ベニヤ板設置箇所では18℃と温度が低く抑えられていました。

この結果を農業者に説明したところ、サイレージが乾きにくくなったとの声がきかれ、後日西側全ての窓にベニヤ板が設置されました。

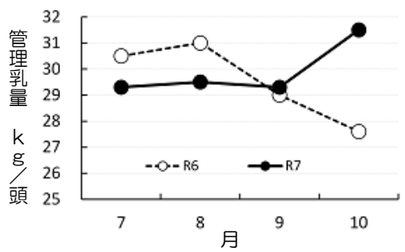
この対策を実施したR7年夏期間の乳量は、未実施だったR6年よりも低下が抑えられました。

R8年の夏は、気温が平年より高く経過するとの予報が出ています（5/19現在、気象庁）。この記事が皆様の参考になれば幸いです。

窓に設置されたベニヤ板



ベニヤ板設置の有無による温度の違い



暑熱対策実施前後の乳量の違い

活動紹介

広域活動

担い手

新規就農者の経営能力の強化～SOYAルーキーズカレッジ

広域活動【担い手】では、新規参入者や青年農業者、農業生産法人（酪農法人ネットワーク・宗谷TMRセンター連絡会）等の多様な担い手への支援を行っています。

新規参入者・農業後継者等を対象に開催している「SOYAルーキーズカレッジ」では、２年間を１期として活動しています。第６期（令和６～７年度）では、延べ79名が参加しました。

粗飼料生産や暑熱対策等の講義、指導農業士の農場で放牧に関する現地実習、農機具のメンテナンス等、内容は多岐にわたります。

参加者の意見を取り入れ、満足度も高い内容となりました。今年度も引き続き開催していきます。

フリーストール放牧について学ぶ

暑熱対策の講義

技術&情報

暑熱対策：夜のクールダウンで夏バテ知らず
～夜間こそ送風機を回そう！～

牛の体温上昇機能は気温ピークの2時間後と採食後にやってきます。夜間は牛の体温を下げ１日の体調をリセットできるチャンスです。３日後の乳量低下を防ぐためにも宗谷の天然特権、クールダウンのため夜間の送風機を効果的に使いましょう！！

（資料提供：R8.3　宗谷南部指導農業士・農業士会研修会　酪農試験場天北支場　堂腰顕氏）

①体温のピークは気温ピークの約2時間後

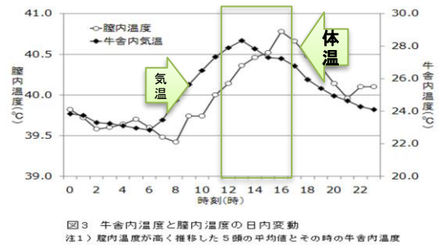
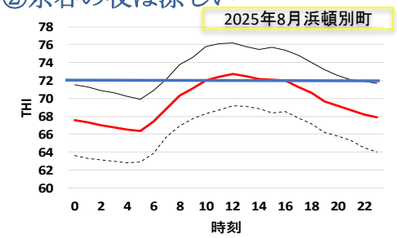


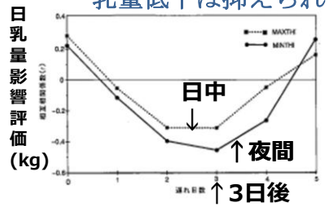
図３　牛舎内温度と腟内温度の日内変動
注１）腟内温度が高く推移した５頭の平均値とその時の牛舎内温度

②宗谷の夜は涼しい



THI（温湿度指数）
指標72以上で暑熱ストレスを受ける

③夜間THIが高いと3日後の乳量は低下する
→夜間の牛舎内を涼しくできれば
乳量低下は抑えられる（目標THI72以下）



④夜の環境温度低下が牛を平熱に戻す

体温を下げる具体策

【送風】
最大2m/秒の風を当てることで、牛の体感温度6℃低下に貢献

【飲水・採食】
常に飲水できるように
夜間給餌も効果あり

【換気】
外気温との温度差
1℃以内

【温湿度指数】
THI72未満を目指す

今号の表紙

表紙：子牛の体測　～豊富町～

普及センター北部支所では、令和8年度から豊富町で子牛の飼養管理改善に取り組み始めました。

写真は、人懐こい子牛に舐められながら体高を測定しようとしている様子です。

毎週更新 本年産牧草生草分析値 ご活用ください！

ようこそ！宗谷農業改良普及センターへ